

# 第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

**平成 21年 2月**

**応募者名：岩手県南広域 一関総合支局 土木部**

**事業の名称：都市計画道路 毛越寺線  
志羅山地区 街路整備事業**

**実施都市名：岩手県西磐井郡平泉町**

## 事業目的

都市計画道路毛越寺線は、平泉駅から毛越寺に通じる観光道路であるが、大勢の観光客が訪れるにもかかわらず、道幅が狭く十分な歩道幅も確保されていなかった。

このため、道路拡幅によって状況を改善するとともに、世界文化遺産登録を目指すにふさわしい品がある道路を建設し、登録に向けた運動を支援することが事業の目的である。

## 事業概要

事業名：志羅山地区街路整備事業

路線名：都市計画道路 毛越寺線

事業箇所：岩手県西磐井郡平泉町志羅山地内

事業延長：L=406m

幅員：W=16m(車道3m×2,歩道2.5～4.5m)

総事業費：C=2,380百万円

事業期間：平成8年～平成19年

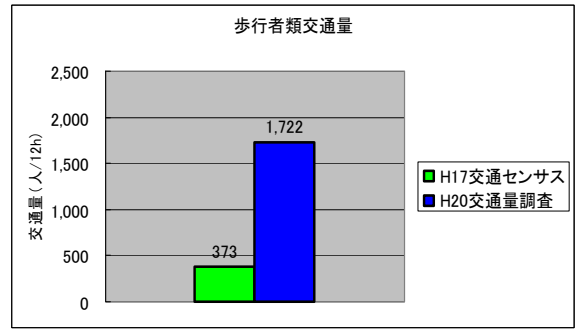
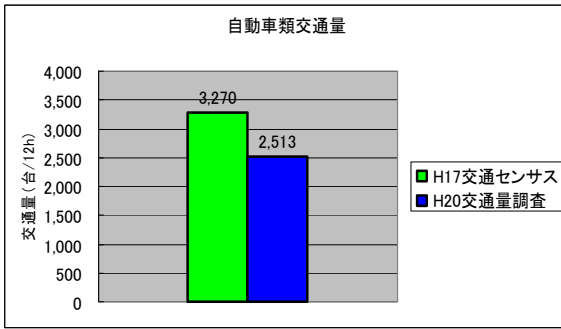
本事業は、JR東北線平泉駅から平泉文化遺産の核となる毛越寺までの道路拡幅事業である。

道路改築場所が藤原時代の「大路」と重なっており工事現場から、当時の倉庫があったとみられる倉町遺跡などが出土している。このため、遺跡を保護するための道路線形修正や歴史的景観と調和した雰囲気を出すため、電線地中化を始めカラー舗装、街路灯や植栽、道路全体の色調などを考慮したデザインで設計し、完成させたものである。





## 交通量増減図



**自動車交通量が減少したが、逆に歩行者数は増加した。**

道路拡幅の結果、東稲山への空間が開け藤原時代の眺望を少しでも再現できた。交通事故も減少し、歩行者の安全も確保され、ゆっくりと景色を楽しみながら歩く人が増えた。夜間照明の明かりは、かがり火に似た光調で地元住民から好評である。

### 「その他の事業効果」

沿道の園地では、地元住民のビールパーティーに観光客も参加するなど、思いがけない交流の場として利用されている。

平泉町は、平成20年度にユネスコ世界文化遺産に登録すべく運動してきたが、残念ながら実現は延期になっている。

沿線の建築物を和風の落ち着いたデザインに統一すべく取組みが始まっている。本事業はこうした取組みの、デザインの規準を具体的に示したものと考えている。



**デザイン解説版**



**足元照明（地元製鋳物）**



**デザイン街路灯**



**カラー歩道舗装**

# 事業前写真

## 事業前写真1



平成15年9月撮影

## 事業前写真2



平成17年7月撮影

## 事業前写真3



平成17年9月撮影

# 事業後写真

平成19年 5月撮影



「藤原まつり」道路が拡幅され大勢の観光客が楽しめる余裕ができた。

## 事業後写真2



平成19年8月撮影

## 事業後写真3



平成19年8月撮影

毛越寺の歴史的景観に調和した道路空間デザインとするため、カラー舗装や見やすい解説版を採用したほか、街路灯の光も松明に似た色調とした。

また、沿道の園地からは、藤原時代に桜の名勝となった東稲山が正面に見えるように眺望の場所を設置している。